

# 講座「教育の方法と技術」の教材

## 教材開発担当者：

西之園晴夫（佛教大学，NPO 法人 学習開発研究所 理事）  
宮田 仁（滋賀大学，NPO 法人 学習開発研究所 役員）  
望月 紫帆（NPO 法人 学習開発研究所 専従所員）

## 技術支援担当者：

三輪 吉和（NPO 法人 学習開発研究所 理事）

この教材は、大学での教職科目「教育の方法と技術」だけでなく、教育研修所や学校内での研修、あるいは研究会で講習を開催する場合に参考になることを目的として開発されています。できるだけ汎用性をもたせていますが、実践して確認するために佛教大学を始め他大学での授業の実態に合うようにカスタマイズして実践し改善を重ねてあります。この教材がさらに広く利用されることによって、現在の教職科目「教育の方法と技術」の改善だけでなく、校内研修などにも有効利用されることを期待するものです。さまざまな環境や条件で活用できるように、NPO 法人学習開発研究所が責任をもって対応できることを目指してバックアップ体制を整えています。

この教材は受講者が 4～7 名を単位とするチームを組んで学習できるようになっています。研修のテーマはさまざまに変更できると思いますが、基本的にはチーム学習として取り掛かります。これまでに大学の授業で実施した実績としては最大 228 名の学生を指導したことがあります。学習成果としては、中間段階でのチームごとのパネル発表と、最終的に A4 判の用紙で 10 枚以上のレポートを提出することです。

チーム学習は従来のグループ学習とはかなり違うところがありますが、この教材にさらに手を加えて自分達のニーズに合うようにカスタマイズしたいときは、研究所に連絡して下さい。会員になり短期講習を受ければ編集可能な Word ファイルで提供します。

さらに学習開発についての基礎能力を習得したいときは、研究所が実施している長期講習を受講することをお勧めします。「教える教育」から「学ぶ教育」へと視点を転換することを意図した講座を用意していますので、それを受講すれば背景にある考え方を理解して頂けるので、さらに広い応用ができるでしょう。